

クリプトン！

36期生学年通信 2021.11.5 第35号

人権講演会、実施しました

昨日、3・4限のクラス、5・6限のクラスと2回公演で人権講演会を実施しました。ゴスペルシンガーの新井深絵さんの歌とお話しに引き込まれる2時間でしたね。この学年通信は松本が記していますが、私個人としては、オシャレな編曲の校歌、力強く歌われた校歌に魅了されました。できる限り早い時期に、36期生のみなさんと校歌を歌いたいな、と思いました。よくよく考えると、入学式の際に、校歌紹介でみなさんに聞いてもらって以降、聞いてもらっていないんですね・・・そう思うと、たった一つのウイルスによって人間の社会生活は大きく変わってしまったのだと改めて実感します。

新井さんは、多くのメッセージを私たちに残してくれましたね。

- ・「愛」って恋愛だけじゃない。周りにいっぱいある。その愛があなたを支えてくれている。
- ・「言葉」にはパワーがある。エネルギーがある。
- ・一生懸命取り組んだり、人と関われば「もめごと」はある。それは「一生懸命やるから」「相手を理解しようとするから」生まれる。心を鍛えましょう。
- ・「大切にされる」と生きる勇気が出る。他者を大切にすると、人に勇気を与えられる。
- ・壁を作っているのは自分自身
- ・どんな自分でも、全部自分と思う。温かく自分を見る
- ・「幸せ」とは何か。自分で思えばそれが幸せ。でも、幸せはいつでも「幸せ」という顔をしてこちらへ向かってこない。「苦勞」とか「試練」という顔をしてやってくる。だからといって、やけにならない。その向こうに幸せがまっていると思って「よし、やってやろう」と挑戦する。「失敗」しても「経験」が残る。壁にもたれていても始まらない。悩んだら苦勞する方を選ぶ。元気がなければ周りに頼っていいんだよ。元気があれば、周りを助けよう。
- ・生活の中には「幸せ」がいっぱいある。でも、それが「当たり前」になってしまっていて気づかない。「幸せを集める名人」になってください。



昨日の講演会を振り返って、もう一度みなさんに思い出してほしいのは、

誰もが、大切にかけがえのない、唯一無二の存在

であることです。それは、国籍や性別、年齢などによりません。周りの人を大切にしましょう。36期生全体として、こんな風に、お互いを大切にする空気にしていきましょうね。

★集合が早くて、サッと皆さんだけで並べて、とてもよかったですよ！「怒られてから」とか「さっさと並べ！」と先生たちに大きな声を出されなくても並べるみんなってすごい！これから、いろいろな場面で集合する機会も増えますが、この調子でいきましょう！！

★「みんなが気持ちよく生きられる世界」ってどうすれば実現できるのでしょうか？「世界」というと話が大きくなりますが、まずは「枚方津田高校」ではどうすればいいのでしょうか？ちょっと立ち止まって考えてみましょう。「身近な友人」「身近な同級生」が気持ちよく学校生活を送るためにできること、考えてみませんか？そして、行動に移してみませんか？



検定試験にチャレンジしてみませんか？

パソコン検定、英語検定の案内が授業の中などであったかと思います。ぜひとも積極的にチャレンジしてみてください。検定試験に合格すると「私はこんな能力があります！」と客観的に評価してもらった証拠として利用できます。

「目標をもって勉強したい！！」と思っている人には検定試験は本当におススメです。後日、漢字検定や数学検定の案内もあるかと思いますが、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください。検定に向けて、どんな勉強をしたらいいのか、教科担当の先生に質問してみましょう。アドバイスして下さるはずですよ。左にも新井さんの講演の中のお言葉として紹介していますが、「悩んだらやってみよう！！」なのです。



★「好きやで！」「I love you」「ティアモ」「ジュテーム」「ウォアイニー」「サランヘヨ」昨日の講演会の中で出てきましたね。「ティアモ」「ジュテーム」が分かった人はいたかな？それぞれイタリア語、フランス語で「愛してるよ！」です。ウォアイニーは中国語、サランヘヨは韓国語です。「愛」は恋愛だけではありません。36期生みんなが、お互いに「好きやで！」といえるようになるといいな、と思います。お互いの努力を認められる関係って素敵じゃない？？